

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる やや良くなる	－	－
		商店街（代表者）	・来春になると新学期が始まるため、やや良くなる。
		百貨店（営業担当）	・セールになり、冬物の動きが活発になる。
		スーパー（店長）	・東日本大震災被災地へのスキーの修学旅行などが当地に変更になったことが、地域経済の活性化になってくる。それ以外でもホテル、旅館関係は満室が多く、食材などが莫大で金が回るため、観光地の特性で景気は良くなる。
		コンビニ（店長）	・当店の商圏内にあるスーパーが営業不振により、3月ごろ商圏外に移転する話が出ているため、期待している。
		家電量販店（店長）	・エコポイントによる実績の影響が薄くなり、好調のスマートフォン、LED照明器具、その他省エネ関連商材の伸びが良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車の初期受注が良好であることに加え、エコカー減税の駆け込み需要とエコカー補助金が補正予算に盛り込まれたため、受注増が見込める。
		乗用車販売店（販売担当）	・これから新型車が出るため、新型車の展示会、車検、点検の安売りをするので来客数が増え、その分だけ売上が伸びる。
		一般レストラン（経営者）	・新年会の予約が多く入っており、日々の食事も少しずつ回数が増えてきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・消費税の問題などで皆非常に財布のひもが固くなってきているのではないと思うが、時節柄、新年会や歓迎会などの時期に入ってくるため、これからはしばらく良くなる。
		旅行代理店（経営者）	・タイの洪水等でまだ影響が多少あると思うが、東日本大震災による自粛も解消されてきており、これから伸び、やや良くなることははっきりしている。
		タクシー運転手	・東日本大震災の復興需要に期待し、やや良くなる。
		通信会社（経営者）	・現状の見積案件から考えると、このまま年度末まで中規模の受注が増えていく傾向にある。
	住宅販売会社（従業員）	・年明けからは政治の動き、消費税や予算関連の状況が明確になるにつれて、現在の低金利の優位性が認められ、やや良くなる。	
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・年末の売出もあまり動きがないが、春になって東日本大震災の復興が見えてくることを期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・テレビ、エコ商品、太陽光発電機と提案型営業を盛り上げ推進し、積極的に営業を強化して売上を確保したい。
		百貨店（営業担当）	・景気の先行きは非常に不透明で、この先も良くなる要素は何一つないという状況のなかでは、消費マインドが上がる要素はない。
		百貨店（販売促進担当）	・クリアランスセールに入ってくるが、時期の前倒しや短期集中の傾向となっているため、価格訴求だけでの買上はより難しい傾向になっており、正価品と同様の接客が必要である。
		百貨店（販売促進担当）	・冬物クリアランスセールを目前に控えているが、主力の婦人衣料品が不振であるここ数か月の状況では冬物商戦も期待できず、苦戦が予想される。
スーパー（総務担当）		・電気料金の値上げ、増税、年金不安等から財布のひもは固い。必要な物だけを買ひ、衝動買いは控える状況は変わらない。	
コンビニ（経営者）		・年末商戦も終わり1～2月と細かいイベントがあり、更なる努力はするが、天候次第で、大雪だったりすると数字が少し読めない。	
コンビニ（経営者）		・1月以降、季節変動で売上、来客数は下がるが、3月くらいになってやや暖かさが増してくると来客数も増えるため、総体的に考えると現在の調子が維持できる。	
コンビニ（経営者）		・今の客の様子から、この先良くも悪くもない。	
衣料品専門店（統括）		・最近、節約なのか決定する時間がゆっくりになっているのか、年ごとに年始用の注文がだんだん遅くなってきており、ぎりぎりの納品がやっとなところもある。東日本大震災以来、自粛ムードが非常に強くなっており、いまだに節約、買い控えにつながっている状況は変わらない。	
乗用車販売店（管理担当）		・国内消費は、日用品などはやや上向きだが、エコカーは充電施設の未整備や走行距離が短いなど問題が多く、販売拡大は望めない。	
住関連専門店（統括）		・グローバルレベルでの経済問題や、国内では増税、年金問題等の不安要素が多く将来が不透明で、消費マインドが低下しているため、変わらない。	
一般レストラン（経営者）	・宴会は例年どおりに戻ったが、一般の客数が減っており、まだ上伸気運にはない。		

	一般レストラン（経営者）	・歳末の景気、今後の福島第一原子力発電所の風評被害の影響を考えると、商売のやり方の難しさがより一層感じられるようになり、薄利の商売がどこまで続けられるか心配である。
	スナック（経営者）	・客の話から現金を使うことに対して不安感があるようなので、変わらない。
	観光型ホテル（営業担当）	・相変わらず景気回復の要素は見当たらず、先行き不透明である。
	都市型ホテル（経営者）	・好転できる材料がない。相変わらず下請の縛りがきつく、閉塞感は増すばかりである。
	旅行代理店（副支店長）	・先行きが不透明なため、当社のような余暇産業は将来的な取扱、販売が伸びるとはなかなか考えにくい。
	通信会社（総務担当）	・客の節約志向は変わらず続いており、消費が低迷する。
	通信会社（局長）	・やや良くなると判断できる好材料は特に見当たらない。むしろ増税議論などの行方により、やや悪くなることが危ぶまれる。
	通信会社（販売担当）	・消費税の議論による不安や円高の影響により、景気回復は考えにくい。
	遊園地（職員）	・東日本大震災から9か月が経過し、レジャー、サービス業界は徐々に回復傾向にあるが、持ち直しのテンポが緩やかになってきていることから、今後の景気はあまり変わらない。
	ゴルフ場（業務担当）	・今月は寒気団の襲来によって途中から来場者の伸びが止まってしまう前年よりも下回っているが、1、2月の取り込みは今のところ前年くらいで推移しているため、気温が若干上がってくれば今月の落ち込みは持ち返せる。単なる気候的な問題での来場者数減なので、総体的には前年並みくらいにはなる。
	その他サービス〔清掃〕（所長）	・新年を迎えると初詣や新年会等で一時的に街中のにぎわいはあるが、その後はすぐに元の状態に戻るため、先行きは変わらない。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・今月に入って前年比で来客数が約2%、単価は約5%上昇しているため良いように考えられるが、客の買物の様子や声を聞くと、買上量は増えていないため、先行きは変わらない。
	設計事務所（経営者）	・小さい物件はあるが大きい計画は少なく、厳しい状況は続く。
	設計事務所（所長）	・しばらく安定しているため、変わらずに維持していきたい。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・大型店のみで日用品を買い求める人が多くなり、小売店、路面店はますます苦しくなる。
	商店街（代表者）	・年末のムードは良くなかったところに消費税の議論等から将来への不安が増し、景気に影響することは必至である。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新製品が出たとしても消費者の購入意欲を誘うほどではなく、消費に冷めた様子が見られる。年末の様子からも新入学を控えたこの先、ますます必要最小限の消費しか望めない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・福島第一原子力発電所の事故の収束がないと難しく、明るいニュースなどの良くなる材料が見当たらない。
	百貨店（店長）	・経済の先行きの不透明感や増税への不安などから、年明けからは売上が減速することも考えられる。
	スーパー（統括）	・電気料金の値上げ発表や消費税、年金等の生活不安要素による消費意欲の減退に加え、天候、気温などの気象条件に左右される不安定な営業状況が続く。
	スーパー（経営企画担当）	・消費不振のなかで消費税増税の議論が進められるなど、心理的に景気回復に水をさす懸念が大きい。
	スーパー（副店長）	・年末の繁忙期である現在と比べ、2、3か月後には通常の生活に戻っているため、やや悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・1年のうちでいつも2番目くらいに売上が高い今月に比べると、2、3か月先は売上が落ちるため、やや悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・12月末になって気温が急に下がり始め、客の購買意欲も非常に悪くなっており、消費が非常に低迷してきているため、3か月後にはやや悪くなる。
	コンビニ（店長）	・来月同じ系列の店舗が近くにできるため、どうしても当店の個店売上は下がってくる。
	衣料品専門店（店長）	・欧州の信用不安によるユーロ安に伴い、円高にますます拍車がかかる懸念があるため、良い方向には進まない。
	乗用車販売店（従業員）	・販売が年内に一部前倒しをしているため、先の状況は厳しい。
	乗用車販売店（販売担当）	・東日本大震災や風評被害などとは関係なく、当社は観光地であるため、毎年のごとく12月に駆け込み需要がある。1～3月はどうしても観光客が減るため、販売台数は減り、冬場は良くない状態が続く。
乗用車販売店（営業担当）	・今月も何とかサービス売上で仕事量はカバーできたが、販売は低調で先の予想が立たない。	

		一般レストラン（経営者）	・一部の企業が良くなっても、中小企業など小さい所は依然としてなかなか景気、経済状況が良くならない状況が続く、やや悪くなる。
		都市型ホテル（支配人）	・福島第一原子力発電所事故の風評被害により、観光客が大幅に減っている。茨城空港利用の外国人観光客もほとんど当地域には来ておらず、今後2、3か月はこのような状態が続くと思うため、やや悪くなる。
		都市型ホテル（営業担当）	・12月は忘年会シーズンでピークであったにもかかわらず、伸びていなかった。客の財布のひもが固い状況が続いているため、やや悪くなる。
		旅行代理店（所長）	・国内需要は引き続き厳しいことが想定され、福島第一原子力発電所の事故のしっかりした解決が必須である。さらに、北朝鮮総書記死去の影響が海外旅行で一番人気の韓国旅行に影響を与える懸念がある。
		旅行代理店（従業員）	・燃油サーチャージも変わらず高額であるため、やや悪くなる。
		旅行代理店（副支店長）	・東日本大震災、円高、自然災害など、良くなる条件が無い。輸出企業の業務渡航やタイなどに工場がある企業は厳しい状況が続く、その下請も更に厳しい状況が続くため、やや悪くなる。
		テーマパーク（職員）	・東日本大震災までが好調だったため、前年比で大きく下回り、やや悪くなる。
		ゴルフ場（支配人）	・隣県が冬季クローズのため、来場を期待するが、1～2月の冬季は雪や寒さで厳しい予約環境にある。現在の予約は前年並みだが、価格競争が大変厳しくなっているため、中止になると大変厳しい。
		競輪場（職員）	・毎年それなりの来場者や売上がある年末のグランプリの開催でも、今年は前年に比べてかなり落ち込んでいるため、やや悪くなる。
		美容室（経営者）	・成人式の着付けの予約状況は、異業種のカメラ店や着付教室が頑張っているため、非常に悪くなっている。これから先、経営努力をして頑張らないと、異業種に仕事を奪われていく状況になる。
		住宅販売会社（従業員）	・東日本大震災による当地への一時的な避難需要は一巡したと見込んでいるため、やや悪くなる
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税も決まりそうなので通常だと増税前の駆け込み需要が見込まれるが、逆に購入をあきらめる客も出てきており、更に景気が悪くなる傾向がある。
	悪くなる	商店街（代表者）	・東日本大震災の影響はいまだに終息の兆しが見えない。商店街への買物には慎重で、シビアな様子が見られる。
		一般小売店〔乳業〕（経営者）	・工業団地内企業では2月までは減産予定のところが多いことと、地域内高齢者の購買意欲が落ちていることから、悪くなる。
		一般小売店〔衣料〕（経営者）	・12月は年末なのでタオル関係などを多少は販売したが、全体的には良い方向に向かない。これからもそれほど良くなっていくような気配は感じられない。
		スーパー（経営者）	・先行き不透明感があり、心理的に購買意欲が減退する。
		衣料品専門店（販売担当）	・年末から年明けにかけて幾分元気を出さなければと客自身が鼓舞するような雰囲気は見られるが、それが消費行動に向く感じは全く見られない。相変わらずクレジットカードの使用率も低迷したままで、客の雰囲気からは不安によるストレスが見られる状態は今後も続き、悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・仕入れ価格の上昇に加え、新年会予約も付き合いの範囲であり、一般の動きは全くないため、悪くなる。
		スナック（経営者）	・良くなりそうな動きがなく、税金の議論で生活防衛に拍車がかかると危惧している。個人レベルでは全く手の打ちようがなく、お手上げの状態である。
		タクシー（経営者）	・不景気のためタクシーの利用が少なく、この先も悪くなる。
		ゴルフ場（副支配人）	・当ゴルフ場は1～3月までクローズ期間になる。来場者数0人となり、会員券の募集等をしないと売上にはならないため、景気は当然悪くなる。
		設計事務所（所長）	・現在は忙しくても、来年の仕事の見通しが立っていない所がほとんどである。
企業動向関連	良くなる	金属製品製造業（経営者）	・通常の生産の他にも、これから徐々に始まる復興需要が出てくるため、全体では平均的に良くなる。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・行政中心の環境機器を扱っているため、2～4月に集中し、良くなる。
	やや良くなる	化学工業（経営者）	・4～9月の状況はあまりにひどかったが、3月の期末に向けては仕事量は確保できたため、ここで一息つけそうである。

	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・前年比では売上は落ち込んでいるが、受注量が増えて生産が間に合わず残業をしているため、やや良くなる。
	金属製品製造業（経営者）	・金属加工では住宅用換気扇部品の仕事が多くなりそうであり、自動車部品も引き続き仕事が出る様子なので、来年は少し希望を持っている。
	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の開発案件では忙しい状況が続く。東日本大震災のリカバー生産の継続及び新規の量産案件が本格的に立ち上がる予定で、油圧建機関連の在庫調整による仕事の落込みをカバーできる見込みである。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・輸出量が戻ってくれば、幾らか良くなる。
	金融業（役員）	・地域の製造業の雇用が活発化しており、消費の拡大が期待される。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・現在の県内チラシ出稿動向から見ると、外周部の新規出店などが後押しとなり、良くなる。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・外部環境が混とんとしており、先行きの不透明な状況が今後も続き厳しいことには変わりはないが、現状の引き合い、受注量で推移すると販売量は増加する。
変わらない	食料品製造業（営業統括）	・業界内の一部メーカーはヨーロッパに逆輸出をしているが、数量的にはまだわずかで、業界全体の景気を上向きにするほどの効果は出していない。長期にわたる円高の影響によりボディブローが効いてきており、県内メーカーにかなりのダメージを与えつつある。
	一般機械器具製造業（経営者）	・定常的に来る注文はやや減少しているが、タイの洪水による応援品の注文がそれを補い、作業量に変化がない状況が今後2、3か月は続く。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今後2、3か月は取引先、受注量等を確保しているため、やや良い状況が変わらず続く。
	社会保険労務士	・賞与は前年並みか多少減額している所が多く、今後大きなプロジェクトがあるわけでもないため、大きな変化はない。
やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・消費税増税の議論や電気料金の値上げ、また、欧州の信用不安などの不安材料が、国内の消費マインドや景気を更に冷ます要因になる。
	食料品製造業（製造担当）	・新穀が出始めてくるが、放射能の検査体制などで販売が難しくなる。また、測定にかかる費用は中小企業には負担になり、原料の取り合いで来年度分まで契約などが進み、激化しているため、厳しい。安心、安全を求めて価格が上がっていくと思うが、販売価格には反映できないため、ますます厳しくなる。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・官庁関係の来年度の見積が前年に比べて少なく、少し景気が悪くなる。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・先行きは依然不透明のままである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が減ったりと、全体的に細くなっている。活気が感じられず、心細い見通しである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合いの件数が減少しており、先行きの仕事量の確保は難しくなる。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主力自動車メーカーからの生産の3か月見通しでは、1～3月と少しずつ少なくなってきた。今年は東日本大震災があったが、例年だと3月がピークになるため、生産調整に入ってきているようである。
	輸送業（営業担当）	・年末年始のイベントが終わり、人も物も動きが落ち込む時期である。また、エコポイントなど様々な収入による例年の家電や自動車関係、住宅関係の動きが落ち込む見込みである。今後も白物家電等の動きに期待したいところだが、先行きは難しい。
	金融業（経営企画担当）	・製造業において、円高による大企業の海外シフトにより、受注減を懸念する取引先が多い。
	金融業（調査担当）	・欧州の信用不安、円高の長期化など不透明な先行きについて、慎重な姿勢の企業が増えているため、やや悪くなる。
	経営コンサルタント	・総じて地場企業の活気が失われており、消費、設備投資、建設投資等の先行き不透明から、景気については期待できる要素が見当たらない。
悪くなる	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ここ数か月売上は落ち込んできたが、12月は特にひどく、間屋筋も仕入れを控えている。時々金額の高い商品が売れることもあって、そのおかげで売上が前年を大幅に下回りはしなかったが、それはたまたまであり、客全体が回復基調にあるわけではない。1月は国際宝飾展の会期が大幅に早まっていることもあり、先行きは不安要素が大きい。

		不動産業（管理担当）	・建物のオーナーからの経費削減要求が多く、清掃やメンテナンスにかかる費用を減らすしかないため、売上全体が減少し、利益も少なくなる。業者に委託する仕事も回数や頻度を減らすことになるため、業者の売上も減少する。	
雇用 関連	良くなる やや良くなる	－	－	
		人材派遣会社（経営者）	・タイの洪水の影響で仕事が日本に戻ってきているため、あと2、3か月は忙しい。	
		人材派遣会社（管理担当）	・タイの洪水の影響がこれから半年間は続き、臨時的に日本の製造が増えるため、やや良くなる。	
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・衣料品関係の伸びが今一つで横ばいの状況である。自動車関連、携帯関係は少しずつ伸びるかという状況が募集には出ていたが、2月の落ち込みが予想されるため、横ばいと見ている。住宅関連は相変わらず細々と、改修工事等で底辺を推移している。	
		職業安定所（職員）	・求職者数はそれほど減らず、求人数もあまり伸びていないため、変わらない。	
		職業安定所（職員）	・円高等の不安要素が多いことから、企業側は従業員の採用に対して慎重に考えている。雇用調整助成金の活用等で、人員整理のような最悪のケースを何とか回避している企業もあり、雇用の動向は今後も不透明さが続く。	
		学校〔専門学校〕（副校長）	・今年度の求職者に対する内定状況が悪いにもかかわらず、来年度の就職活動も開始されたが、求人社数、求人数共に非常に良くない。また、求人を出さなくても自然に応募のある会社等もあり、ますます求人からの景気動向が読めなくなっている状況は変わらない。	
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・今後、新しい年を迎えても景気が良くなる要素は無く、求人情報も減少する。	
		職業安定所（職員）	・1月になると若干だが求職者が増えてくる。また、年末商戦が一段落し、秋口に多数あった短期の仕事が一段落するため、やや悪くなる。	
		職業安定所（職員）	・ここ数か月、求人数は伸びてきているが、求人の雇用調整も行われている。円高の影響も大きいいため、それによって求人数が今後止まってくる可能性があり、雇用調整も更にある。	
		職業安定所（職員）	・製造業にかかる希望退職の募集の相談が続いており、今後新規求職者が増加し、先行きは悪化する。	
	悪くなる		○	○